

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	07 03 11	中期総合計画主要施策番号	2-02	担当課	部・課	観光部観光振興課	
事業名	信濃グランセローズとのタイアップによる広域観光推進事業			内線	3542		
				E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H21 ~	根拠法令等	「観光立県長野」再興計画				
実施方法	観光PR委託(株)長野県民球団)、パナースポンサー契約(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング)					国庫・県単	県単独事業
事業の概要等	目的(必要性)	平成26年度の北陸新幹線長野・金沢間の開業を視野に、信濃グランセローズの県外試合で長野県観光のPRを行い、沿線5県(富山県、石川県、福井県、新潟県、群馬県)からの誘客促進を図る					
	対象	北陸新幹線沿線5県(富山県、石川県、福井県、新潟県、群馬県)の住民					
	目指すべき姿	北陸新幹線沿線5県(富山県、石川県、福井県、新潟県、群馬県)での試合で観光PRを行い、長野県の観客数を増加させる。					
	事業内容	1 信濃グランセローズのビジターゲームにおける観光PR(入場者への長野県観光パンフレット等の配布、長野県の特産品等のプレゼント)【実施方法】(株)長野県民球団に業務を委託 2 (株)ジャパン・ベースボール・マーケティングとのスポンサー契約締結による観光PR(信濃グランセローズのビジターゲームにおける外野フェンスへのバナー掲出、BCリーグホームページでの宣伝等)【実施方法】(株)ジャパン・ベースボール・マーケティングとスポンサー契約を締結					
事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・役務費:1,000千円(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング) ・委託料536千円(株)長野県民球団)
	最終予算額 (A)		千円	2,763	2,213		
	決算額 (B)		千円	2,578	2,059		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	2,578	2,059		
	概算人件費	従事する職員数	人	0.30	0.20		
	概算人件費 (C)		千円	2,495	1,652	0	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	5,073	3,711	0		
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・県の特産品を試合ごとに抽選でプレゼントし、PRした。 ・各試合の場内放送で「未知を歩こう。2011」観光キャンペーン等のPRを行った。 (効率指標 算出式) 役務費(バナー掲載)、委託料(観光PR)等 / 入場者数
	観光PRの実施(活)		試合	10	10		
	観光PR試合の総入場者数(成)		人	14,870	8,641		
	観光パンフレット等の配布<活>		人	6,290	5,250		
	外野フェンスへのバナー掲載(活)		試合	36	30		
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 観光PR試合の総入場者数		円/人	173.4	238.3		
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分 b 期待どおり
	北陸新幹線沿線5県(富山県、石川県、福井県、新潟県、群馬県)での試合で、観光、特に「未知を歩こう。2011」観光キャンペーンのPRを行い、キャンペーン期間中の観光客数の増加を図る。			「未知を歩こう。2011」観光キャンペーン期間中の観光客数は対前年比3.9%増となり、信州キャンペーン実行委員会で設定した対前年比増加の目標を達成した。			
事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	完了	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	北陸新幹線延伸に伴い、長野県が通過地になる懸念がある中、観光面での有望なマーケットとなりうる北陸地域からの誘客促進策を引き続き実施する必要がある。					
	特記事項	平成24年度新規事業「北陸からの観光誘客促進事業」により、北陸地域に向けた観光PR、旅行商品造成商談会、広域周遊ルートワークショップなどを実施する。					